

第43回

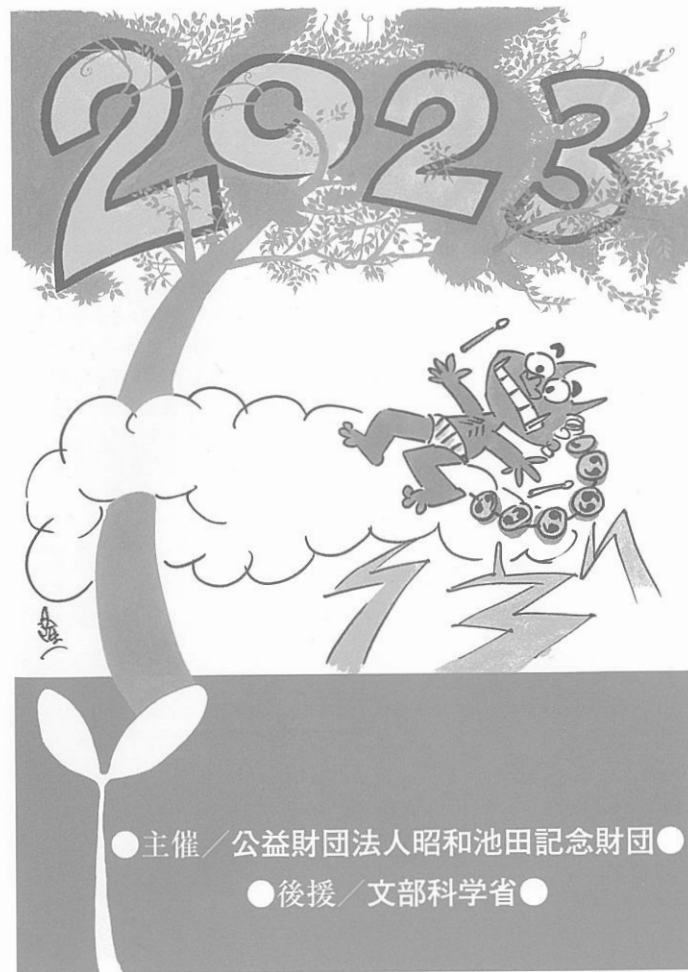
昭和池田賞

応 募 要 項



〒142-0041 東京都品川区戸越 5-17-14

☎ 03-3785-1149 FAX03-3785-1273



<https://www.showaikedakinen-zaidan.or.jp>

「昭和池田賞」募集の趣旨

公益財団法人 昭和池田記念財団は、SMK株式会社の創業者 池田平四郎と、始寿子夫人(いずれも故人)によって、青年の育英と社会福祉のために、私財を投じて1976年に設立された財団です。

学生論文・昭和池田賞は、当財団の設立5周年を機に、学生の育英の一環として制定されました。

学生の皆さんがそれぞれの分野で学問を究め、より広い視野に立ち、磨かれた英知をもって、明日の日本、明日の世界に貢献される願いがこめられています。

「昭和池田賞」が、賞とともに入選者に奨学金を付与しているのは、そういう趣旨によるものです。一人でも多くの学生の皆さんが応募されることを期待しております。



創設者(初代理事長) 池田 平四郎

表紙のことば

「青年たちが、社会に立ちはだかる雷や風雨にめげず、大樹のように、すくすくと逞しく育って、雲を突き破り、枝葉を伸ばしてほしいという願いがこもっています。繁栄が期待される、希望の21世紀です。」

作：故横山隆一(マンガ家)

応募規定

課題

米中対立が続き、ロシアによるウクライナ侵攻も長期化するなか、世界秩序が今後どうなっていくのか、また日本の立ち位置や役割、憲法はどうあるべきかが引き続き大きな論点です。経済の面でも、エネルギー資源ではEU加盟国がロシア依存からの脱却に向けて動いているほか、我が国においても半導体の確保が経済安全保障上の課題として浮上するなど、グローバル社会の抱える課題は山積しています。一方で国内に目を向けると、経済格差の拡大や若者の加担する組織犯罪の増加など、国民の分断や治安悪化の懸念も顕在化しつつあります。このように国際的にも日本国内においても従来より安定や安心をゆるがすような事象が生じている困難な時局に、私たちは社会やその未来をどう捉え、見据え、対応していくとよいのでしょうか。

昭和池田記念財団では、学生の皆さんの柔軟な発想による考えを募ります。自分の目で確かめ、自分の足で情報を収集し、自分の考えを示す、力強い論文、特に、実体験や独自の調査・実験に基づいて、自分自身の考えを発展させた、オリジナルで力強い論文を歓迎します。

下記のテーマ群のなかから掘り下げたい主題を一つ選び、副題をつけて提出してください。

- 1 日本国の安全保障を考える
- 2 日本国憲法を考える
- 3 日本の伝統文化を考える
- 4 日本の針路、この考えはどうだ！
 - 4-1 グローバル社会の展望と日本の立ち位置
 - 4-2 科学技術立国としての日本
 - 4-3 AIや自然環境との共生
 - 4-4 日本の社会的課題と克服
 - 4-5 その他

作品の形式

論文

※参考資料として動画、音声等を、別途ネット上にファイルとして置き、そのURLを論文で指示することは可。

賞

昭和池田賞 1名

賞金50万円と当財団規定の奨学金(給付型)

優秀賞 若干名

賞金20万円と当財団規定の奨学金(給付型)

努力賞

適格の応募者全員に記念品を贈呈します

応募資格

短期大学、大学、大学院に在籍する学生

※短期大学士・学士・修士・博士を修得する学部・学科・専攻等に
正規に在籍している学生に限る

論文の形式

本文6,000字以上、12,000字以内(必要に応じ付表・図を付す)。

A4判用紙の縦置き、横書き、マイクロソフトワードの使用を推奨(35
文字×40行、11ポイントを目安)。

表紙、目次、梗概(800字以内)を添付。

引用文献・参考資料一覧表の添付は必須事項ですが、本文以外は文字
数に含みません。論文は日本語に限りませんが、原文が英語、中国
語の場合は日本語にそれを添付して補う事は可。

提出物

以下の構成で提出してください

- ①応募申込用紙(HPよりプリントアウトし必要事項を記入)
- ②表紙(課題と副題、学校名学部学科専攻等、学年、年齢、氏名を
記載)
- ③目次
- ④梗概(800字以内)
- ⑤論文

※応募申込用紙がプリントアウトできな
い場合は事務局までご連絡ください



募集要項HP

注意事項

- ①提出書類の所要事項の記載が欠落していると失格になります。
- ②匿名は受け付けません。
- ③応募作品は未発表作品に限ります。他のコンテストに応募中の場
合は注記してください。なお、自身の研究(レポート、卒業論文、

修士論文など)を元にする場合、本論文応募のためのオリジナルな
論述が、最低でも半分以上となるようにしてください。またその
場合には、元となる研究を参考資料一覧に明示するとともに、応
募作品との関係を注記等で説明してください。

- ④応募作品の公表や二次的使用の権利は、弊財団に帰属します。
- ⑤応募作品は返却いたしません。審査内容のお問い合わせには応じ
かねます。
- ⑥引用資料・参考文献等は注釈をつけ、一覧表にまとめ出所を明ら
かにしてください。
- ⑦入賞論文(優秀賞以上)は当財団発行物およびHPに掲載いたしま
す。
- ⑧入賞者の学校名・学部・学年・氏名は公表いたします(相談可)。
- ⑨個人情報保護の關係上、記入された内容は本目的以外に用いるこ
とはありません。

生成系AIの使用について

論文は自身の体験や思考を自らの言葉で表現することが大原則
です。ChatGPTなどの生成系AIを、論文執筆において利用する
際には、危険性(個人情報や機密情報の流失、著作権侵害や剽
窃など)に留意し、自己の責任と学術的誠実性を持って利用して
ください。生成系AIの利用は補完的な手段とし、透明性を重視
して、自身の学術的成果と結び付けることが重要です。論文執
筆に際して、生成系AIを利用した場合には、何をどのように利
用し、論文のどの部分にいかに関与しているかの情報を明確に
注記し、AIの生成過程や結果の妥当性について説明責任を果た
すようにしてください。

応募方法

応募規程に従い、2023年10月(募集受付開始)より、2024年2月29日
(締め切り)までに、作品(提出物①~⑤)を下記へ郵送してください。
(締め切り当日消印有効) ※郵送料はご負担ください

提出先

〒142-0041 東京都品川区戸越5-17-14
公益財団法人 昭和池田記念財団 「昭和池田賞」係

日 程

- 募集開始 2023年10月
- 締め切り 2024年2月29日(木) 当日消印有効
- 入賞発表 2024年6月下旬
当財団ホームページにて発表予定
※入賞者のみ直接通知します
※努力賞は記念品の発送をもってかえさせていただきます
- 贈賞式 2024年8月以降
※贈賞式の日程は変更になる事がございます

審 査 委 員

- 加藤諦三 早稲田大学 名誉教授
- 木村忠正 立教大学 教授
- 佐々木正峰 (独)国立科学博物館 顧問
- 中村利雄 (公財)全国中小企業振興機関協会 会長
- 石川薫 元カナダ大使
- 小松弥生 (独) 国立美術館 東京国立近代美術館 館長
- 池田靖光 SMK(株)代表取締役社長

論文コーディネーター

- 大川内直子 (株)アイデアファンド 代表取締役 CEO

(敬称略)

最近の受賞者とテーマ

第42回

優秀賞

- 足名 笙花氏(立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科博士前期課程2年)
- テーマ 日本の針路、この考えはどうか！
日本の社会的課題と克服
『不登校問題のその先を見据えて』

優秀賞

- 石川 良枝氏(広島大学大学院 人間社会科学研究科博士前期課程2年)
- テーマ 日本の伝統文化を考える
『広島藩のサムライ・情報イノベーション
一色紙を用いた独創的な伝達システムー』

特別努力賞

- 松尾 香奈氏(京都大学大学院 人間・環境学研究科修士課程2年)
- テーマ 日本の針路、この考えはどうか！
日本の社会的課題と克服
『ろう研究者と考える人類学的ろう研究』



第42回贈賞式(2023.09.11)



審査風景
(2023.6.16)



公益財団法人		昭和池田記念財団	
理事長	池田 彰 孝	SMK(株)最高顧問	
常務理事	原 眞 理	(公財)昭和池田記念財団事務局長	
理事	加藤 諦 三	早稲田大学名誉教授	
理事	河野 洋 平	元衆議院議長	
理事	濱野 健	前品川区長	
理事	池田 靖 光	SMK(株)代表取締役社長	
理事	中村 利 雄	(公財)全国中小企業振興機関協会会長	
理事	柿澤 未 途	衆議院議員	
理事	御手洗 美智子	ガウチャー大学理事	
監事	伊勢 知 郎	伊勢知郎税理士事務所所長	
監事	棚 橋 祐 治	石油資源開発(株)相談役	